



桂川っ子

VOL.26

「おはよう」と響き合う校舎に……

桂川中学校 校長 安永保之

私は、人生の基礎はだいたい十五歳までに決まるのだと思います。卒業までの教育は、生徒の全人格に左右して、その一生を支配する力を持つわけですから責任重大です。

現在、生徒会や地域の方々と連携した挨拶運動から一日が始まり、静かな10分間読書、真剣なまなざしの授業、参加率の高い部活動で一日が終わっています。これから先、行事や体験学習等を通してコミュニケーション能力・礼儀・規律なども総合的に学習していきますが、社会生活・学校・家庭の中で一番の基本は、大きな声で、素直な気持ちで相手の目を見て「おはよう」という挨拶ではないでしょうか。学校の荒れの度合いを測るバロメーターでもありますし、教育目標「豊かな心をもち、自らの将来をたくましく生きていくことができる生徒の育成」を達成できたかを測るものでもあると思います。今は、挨拶運動かもしれないませんが、運動が習慣となり生徒の人生を変えるものだと信じています。校舎から地域へと広まるように今後ともご支援をお願いいたします。



「校訓を合言葉に」

桂川小学校 校長 本田義隆

校訓を決めました。『自律・共生・奉仕』子どもたちは、次の10項目で取り組みます。

自律	共生	奉仕
①きまりやルールをまもる。	⑤自分の考えを発表する。	⑧自分から進んで学校がきれいになることをする。
②人にめいわくをかけない。	⑥友達の顔をみてつなずきながらきく。	⑨掃除の時は、黙って時間一杯とりくむ。
③はげみタイムにしっかりとくむ。	⑦人を大切にできる言葉づかいができる。	⑩人が喜び感謝されることをする。
④自分の考えをノートやプリントにしっかりと書く。		

規範意識、コミュニケーションを重視した授業、自尊感情、忍耐力を育てることは、県民運動です。

学校の重点内容をご理解いただき、ご支援をよろしくお願いします。

「小規模校の良さを生かした教育活動の推進」

桂川東小学校 校長 田島久美子

桂川東小学校には、四月から入学した新一年生、進級し新しい教室で張り切って頑張っている129名の子どもたちがいます。各学年一クラスずつの小規模校です。本校では、次のように教育目標を定めています。

ともだちを大切にしながら、
がんばり抜く心と体をもつて
しっかりと学習に取り組む
子ども育成

赤・青・黄・緑・桃のブロックに一年生から六年生まで縦割りで分かれて、異学年が一緒に様々な活動を行っています。たとえば、毎日の清掃活動や運動会など、縦割り異学年で取り組んでいます。この取り組みは、単学級の固定化・序列化しがちな子どもたちの人間関係に変化と潤いをもたらしています。

また、「アンビシャス広場・おはよう会・安全見守り」など、地域の方々との交流では、教科書では学べない心の豊かさを育んでいただいています。

一方、学校では「学習規律・話の聴き方・言葉づかい」の約束を設け、学力向上の前提として全教職員で厳しく指導を進めているところです。

学校・保護者・地域が連携を深めて、子どもたちに確かな力をつけていきたいと考えます。本年度もご支援を、よろしくお願いいたします。